

## 江南区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	江南区モビリティプロジェクト 【事業費予算1,000千円】
事業目的・概要	<p>区内公共交通の現状や様々な移動手段について、調査研究を行うことで、地域に則した交通体系の検討を支援する。また、江南区の魅力の発信に繋がる取り組みを実施する。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○区内各地域の公共交通に関する取り組みや検討への協力。</li> <li>○アフターコロナを見据え、区内への来訪者増やまち魅力向上に繋がる取り組みを実施。</li> <li>○江南区親善大使キャラクター等を活用し、江南区や区自治協議会のPRを図る。</li> </ul>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p><u>1. 曾野木まち歩きマップの制作</u> (実施理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人口減少が進む中、関係交流人口を拡大することがまちの活性化に繋がると考える。コロナ禍で人流や交流機会も減少している状況を考慮し、アフターコロナを見据えながら区内への来訪者増やまちの魅力向上を図っていく必要がある。</li> <li>○区内各地区には様々な宝、魅力があり、それらを掘り起こすとともに、江南区全体と各地域を関連付けて紹介することが重要と考え、そのツールとしてマップを作成することとした。</li> <li>○区内でこのようなマップがない地域は曾野木地区と横越地区であり、今年度は曾野木地区を作成する。</li> </ul> <p>(作成に向けた取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○曾野木地区まちなめぐりの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時: 令和3年11月18日(木) 13時から17時</li> <li>・場所: 曾野木エリア(15か所)</li> <li>・参加者: まちづくり部会委員11名、事務局3名、曾野木地区コミュニティ協議会(協力)</li> </ul> </li> </ul> <p><u>2. 親善大使キャラクターシール・クリアファイルの増刷</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○特産品PRを目的に、親善大使キャラクターシール及びクリアファイルを増刷した。</li> <li>○作成枚数: 5,000枚(シール) 1,000枚(クリアファイル)</li> </ul> <p><u>3. 事業内容について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○前期委員からの申し送りにより、公共交通を中心に検討をする予定であったが、交通の見識を深めるための専門家による講演会は新型コロナウイルスの影響により実施に至らず、大江山地区や両川地区における新たな移動手段の取組の進捗状況を適宜情報共有し、各地区で活かすこととした。</li> <li>○今期は、新たな委員構成となり、アフターコロナを見据えた来訪者増やまちの魅力向上に繋がる取り組みを中心に行うことに決定した。</li> </ul>
事業の評価  (地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>【令和3年度の事業評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○まち歩きマップは、曾野木地区の特長や歴史文化などを盛り込み、デザインも親しみのあるものにすることができた。</li> <li>○江南区親善大使の活用は、さらなる区の特産品のPRにつながることから、今後も様々な媒体において積極的に親善大使を活用した啓発を行う必要がある。</li> </ul> <p>【来年度の展開について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○来年度においても、アフターコロナを見据え、横越地区のマップ作成など、まちの魅力発信に繋がる取り組みを検討し、実施していく必要がある。</li> <li>○コミュニティ協議会や区自治協議会の認知度は、まだまだ低いことから、次年度も江南区親善大使などを活用した広報・啓発を継続する必要がある。</li> </ul>
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

江南区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	誰でも安心して安全に暮らせるまちづくりプロジェクト 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	<p><b>【目的】</b> 災害発生時などにおいて、具体的にどのような備えが役に立つか、どのような対応が必要かを習得してもらうため、PR活動等を実施する。 また、子どもから大人まで「支え合い」「助け合い」を考えるきっかけを作り、誰もが安心・安全に暮らせるまちを目指す。</p> <p><b>【概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所だより「こうなん」に防災Q&amp;Aコーナーを不定期連載</li> <li>・区内小学校新1年生に助け合い絵本の配付</li> <li>・安心安全グッズ等の配布</li> </ul>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>&lt;区役所だより「こうなん」に防災Q&amp;Aコーナーを連載&gt; 区役所だより「こうなん」に自治協委員が普段疑問に思っている防災に関する質問をQ&amp;A形式で連載。 ○内容等: 避難時には何をもっていけばいいのか、避難所と避難場所は違うのか、・・・など</p> <p>&lt;区内小学校新1年生に助け合い絵本の配付&gt; 当部会で平成30年度に作成した「支え合いの絵本「みんなにここにこ」を区内6小学校の新1年生全員に配付。</p> <p>&lt;江南区親善大使交通安全反射キーホルダーを作成&gt; 小学校入学前に行われる交通安全教室時に配付。</p> <p>&lt;LEDランタンの配布&gt; 各地域で行われる防災訓練等でLEDランタンを配布。</p>
事業の評価	<p>○2万部以上の発行がある区役所だよりに掲載することで、効率的にPRできた。来年度以降も継続し、江南区全体の防災意識向上と防災力の強化に寄与したい。</p> <p>○支え合いの絵本を通じて、地域ごとに読み聞かせが行われるなどの動きがみられるようになった。</p> <p>○子どもたちが親善大使を知ってもらうことで大人への波及効果がみられた。</p> <p>○グッズの配布を通じ、安心安全の啓発ができた。</p>
備考	

# 区自治協議会提案事業 事業評価書

江南区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	多世代交流”みらい”プロジェクト 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	<p>【目的】 子どもから高齢者まで、多世代が交流する事業を検討・実践することで、コミュニティの活性化や、暮らしやすい”みらい”の地域づくりにつなげる。</p> <p>【概要】 きれいで暮らしやすい江南区を目指し、これまでのごみ拾いに、「スポーツ」のエッセンスを加え、「競技」へと変換させた日本発祥の新しいスポーツポGOMI大会を開催する。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>日時: 11月3日(水・祝)午前10時～正午(受付: 9時30分)            集合場所: 横越総合体育館芝生広場            参加人数: 20チーム、82名。            ルール: 予め定められたエリアで、制限時間内に、チームワークでゴミを拾い、ゴミの量と質でポイントを競い合う。            回収ゴミ重量: 34.85キロ</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<p>○ゴミを拾うことで地域の良好な環境づくりに寄与できた。</p> <p>○燃えるゴミ、燃えないゴミ、ペットボトル、空き缶、たばこの吸い殻といった種類ごとにゴミを分別し拾うことで、どのゴミが多いかなど地域の環境美化を改めて考える機会を提供できた。</p> <p>○未就学児や小・中学生、親世代、祖父母世代の参加があり、多世代で交流する事業を実施できた。</p> <p>○全参加チームが「満足」「ほぼ満足」と回答し、満足度の高いイベントとなった。</p> <p>○参加者から「ゴミを拾って町がキレイになると同時に運動もできて良かった」「楽しくゴミ拾いをできてよかった」「また参加したいです」との声をいただいた。</p>
備考	

# 区自治協議会提案事業 事業評価書

江南区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	地域課題解決サポートプロジェクト 【事業費予算2,000千円】
事業目的・概要	<p><b>【目的】</b> 人口減少対策に向けた各地域でのワークショップの結果を踏まえ、地域の課題解決やコミュニティの維持・向上につながる地域主体の取り組みを支援する。</p> <p><b>【概要】</b> ・区内のコミュニティ協議会を対象に、地域課題の解決やコミュニティの維持・向上につながる取り組みを提案してもらい、委託事業として実施する。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>◎曾野木地区コミュニティ協議会 事業名: 愛&amp;絆 そのき光のページェント 取組概要: ことぶき公園樹木を活用したイルミネーションの設置、点灯している様子を動画配信 など</p> <p>◎亀田小学校区コミュニティ協議会 事業名: 図書コーナーを地域住民の拠り所に 取組概要: 亀田地区コミュニティセンターホワイエに図書コーナーを設置するとともに、気軽に利用できる学習室・読書室を開設</p> <p>◎亀田西小学校区コミュニティ協議会 事業名: 江南区まち歩き声かけ見守り模擬訓練in亀田西小学校区 取組概要: 認知症サポート養成講座の開催、まち歩き声かけ見守り模擬訓練の実施など</p>
事業の評価 <small>（地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など）</small>	<p>○各地域で抱える課題に対して支援を行うことで、地域の課題解決やコミュニティの維持・向上が図られた。</p> <p>○区内のコミュニティ協議会を対象としていたが、新型コロナウイルスの影響もあり、3コミュニティ協議会での実施に留まった。</p> <p>○事業開始より来年度で3年目を迎えることから、自治協議会にて本事業のあり方について検討していくこととする。</p>
備考	